

あなたの“応援”を、もっと近くへ。

SAPPORO パラスポーツ ボランティア 養成講座

札幌から生まれた金メダリスト。東京2025デフリンピック、バドミントン混合団体戦金メダル。森本 悠生選手の輝きを支えていたのは、技術だけではありません。「隣にいてくれた人」の存在が、あの頂点を作ったのです。選手と専門家のリアルな声を聞きながら、あなた自身の「できること」「やってみたいこと」を探す時間です。難しいことは、何もありません。まず、知ることから始めてみませんか？



Para-Sports パラスポーツとは

パラスポーツとは、「特別なスポーツ」ではありません。障がいのある方が取り組む、あらゆる運動やスポーツの総称のことです。「パラ」はギリシャ語で「並んで」「ともに」という意味を持ちます。つまりパラスポーツとは、誰かと「並んで立つ」ことから生まれるスポーツのかたちです。

開催日時

2026.5.21 木 開場 18:00
開演 18:30~21:00

会場

札幌市民交流プラザ 3階クリエイティブスタジオ
(札幌市中央区北1条西1丁目)

定員

100名
※応募者多数の場合は、抽選となります

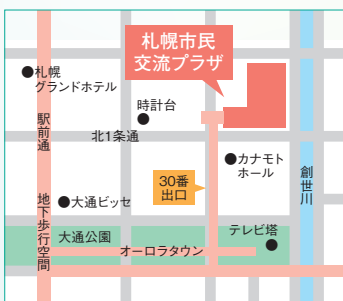
受講
対象者

原則18歳以上の札幌市内の居住者
または札幌市内に通学・勤務している方



受講料無料
お申し込みはこちら

申込締切：2026年5月13日(水)



▲地下鉄大通駅「30番出口」地下歩道より直結
徒歩2分

選手



東京2025デフリンピック
バドミントン日本代表選手
森本 悠生 氏

2007年生まれ。先天性難聴で生まれつき両耳が聞こえない。音のない世界で、父の影響を受け小学1年生からバドミントンを始める。東京2025デフリンピックでは混合団体戦金メダル、男子ダブルス銀メダルを獲得。今春高校を卒業し大学へ進学。2029年アテネでの個人戦金メダルを目指しながら、デフスポーツの普及・振興にも力を注ぐ。

支援者



公益社団法人 北海道理学療法士会
健康スポーツ局付理事
佐藤 義文 氏

千葉県生まれ。理学療法士・鍼師・灸師として漢仁会グループに勤務し、現在は札幌漢仁会リハビリテーション病院リハビリテーション部長。東京五輪や冬季アジア大会、能登・胆振の被災地支援など。パラスポーツ指導員として障がい者スポーツの支援にも尽力する。

講習会終了後、アンケート記入で

QUOカード1,000円分プレゼント!
(交通費相当分)

主催 札幌市スポーツ局スポーツ部スポーツ振興担当課

協力団体 公益社団法人 北海道理学療法士会・一般社団法人 札幌市パラスポーツ指導者協議会

お問い合わせ 株式会社 朝日サービス [担当:葛岡(くずおか)] TEL 011-231-1237